

イス・イズ・サイズ展

もの選別に
新たな視点を

ほとんどの人が、もしかすると自分の身体に合ったイスに座っていないのかもしれない。実は、イスには服や靴と同じように自分の身体に合った「サイズ」があることを知っていますか？イス・イズ・サイズ展は、イスをサイズで選ぶという視点を提案・紹介する展覧会です。本展では自分のサイズを測れたり、高さの違うイスに座ってサイズの違いを体験できたり。さまざまなモデルの方にヒアリングを実施し、シーンにあわせて新たに製作した7種類のイスと約20年前に製作したイスの計8脚をプロセスとともに展示します。

家具デザイナーは、今、何を考える？

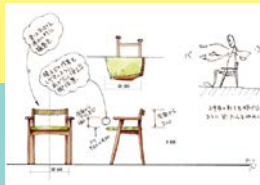
家具デザイナー・うたたねの山極さんから相談があったことが展覧会開催のきっかけです。相談内容は「ものを作る人」と「ものを選ぶ人」の距離をどう近づけるかということでした。そこで本展では、自分の身体や生活に合った家具があるということ、またそれをつくる人の技術や想いにふれてもらうことで、これまでにないような家具との付き合い方やものの選び方を提案することとなりました。



家具デザイナー
山極 博史



うたたね定番
neneスツール



「おばあちゃんのイス」スケッチ



「3姉弟のイス」スケッチ



3姉弟のイス

自分に合ったイスのサイズとは？

イスにも、身長や体重、身体つきなどの違い、また仕事や食事、リラックス時など使う場面や目的の違いによって適したサイズが存在します。自分のサイズに合っていないイスに座ることはぶかぶかの靴を履いて歩いているのと同じで、身体への負担や作業効率が大きく変わってきます。「サイズ」を切り口とした、イスとの付き合い方について考えてみませんか？

イスから、その人が見えてくる？

クリエイティブディレクター、狂言師、音楽家、子ども、高齢者、背が高い海外の方、愛犬家。それぞれのサイズはもちろん、日々の過ごし方や働き方などを取材して、その人に合ったイスを制作・展示します。イスからその人がどんな人か、また自分だったらどんなイスがいいのか想像してみてください。



クリエイティブディレクター

パソコン作業がメインで、長時間座りっぱなしになることも多く腰痛に悩むクリエイティブディレクターのための身体に負担が少なく色気のあるイス。



狂言師

能・狂言の舞台装置である「葛桶」。劇中、座ったり、家具として使ったり、人が上に立ったり。そんな葛桶をモチーフにし、実生活でも使えるイス。



愛犬家

ひじ掛けに犬用のおやつを置いたり、背もたれにリードを掛けられたり。育ち盛りの元気な室内犬と仕事にも一緒に過ごせるイス。



高身長の人

190cm以上ある身長に合うイスは日本には少なく、いつも窮屈。そんな彼の作業も食事も快適にする、スラッとシンプルなイス。



3姉弟

3歳、6歳、11歳。身長も体重も異なる子どもたちそれぞれがちょうどいい高さでテーブルにつけるよう、厚みの違うクッションでサイズを調整できるイス。



ピアニスト

演奏時の力の掛け方や姿勢など、ピアノを集中して演奏するために最適なエレガントなイス。



おばあちゃん

80代マダムの趣味は、木のカゴを編むこと。上半身を動かしやすく立ち上がりもしやすい作業にぴったりのイス。



20年前に作ったイス

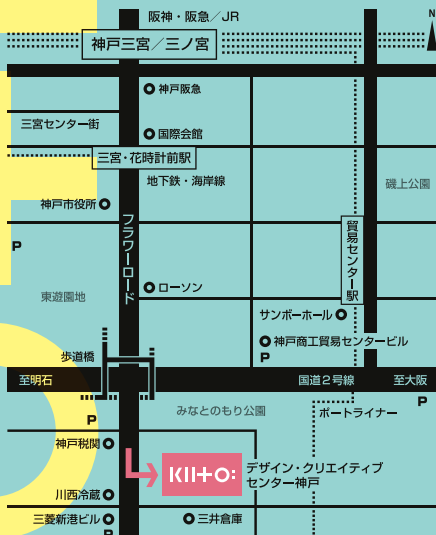
ふっくらした座面が特徴的なスツール「nene」。20年以上改良を続けながらロングセラーとなっている、うたたねの代名詞。

ACCESS / CONTACT

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4
TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230
e-mail event@kiito.jp

阪急・阪神神戸三宮駅、JR三ノ宮駅より
フラワーロードを南へ徒歩20分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



TALK EVENT

関連トークイベント vol. 01

イス・イズ・ランジェリー？

【日 時】3.7[土] 14:00_16:00

【ゲスト】山極博史(うたたね)
九富里絵(Lily Trading Co., Ltd.)

関連トークイベント vol. 02

イス・イズ・サイズ展の
つくり方

【日 時】3.29[日] 14:00_16:00

【ゲスト】山極博史、杉島郁子(うたたね)
吉田貴紀(BYTHREE)
田中裕一(かたちラボ)

詳しくは KIITO HP(<http://kiito.jp>) をご覧ください。